

2026 学校案内

SCHOOL GUIDE 2026

静岡県立浜松北高等学校

スクール・ミッション

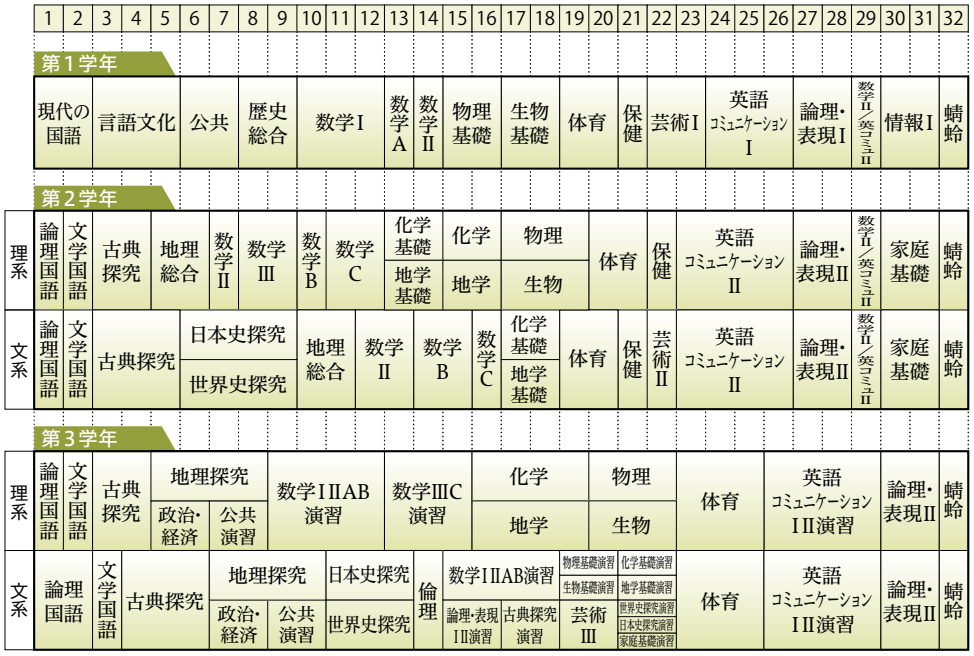
「自主独立」の精神のもと、向学心と向上心にあふれる仲間と切磋琢磨する学校として、授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等の全教育活動を通して、広く世界的視野に立って人類の発展に貢献し得る「逞しい人材」の育成を目指す。

沿革

明治 27 年	4月17日	敷知・浜名・長上3郡、浜松町組合立として現在の浜松市元城町に設立、静岡県尋常中学校浜松分校と称した
大正 13 年	4月 1日	静岡県立浜松第一中学校と改称
昭和 3 年	8月	全国中学校水泳大会初優勝（昭和3年～5年連続優勝）
昭和 7 年	8月	ロサンゼルスオリンピック大会にて宮崎康二（4年）100m自由形、58秒2のオリンピック新記録で優勝、800mリレーに8分58秒4の世界新で優勝
昭和 24 年	4月 1日	静岡県立浜松北高等学校と改称
昭和 28 年	3月	第25回全国選抜高校野球大会に出場
昭和 44 年	3月	第41回全国選抜高校野球大会に出場
平 成 元 年	11月10日	新校舎落成（鉄筋コンクリート５階建）
平成 3 年	4月 1日	国際科１学級を設置
平成 6 年	8月31日	100周年記念資料館竣工
	10月15日	アクトシティ大ホールにて創立100周年記念式典を挙行
平成 14 年	7月27日	第24回全国高校小倉百人一首かるた選手権大会団体優勝
平成 16 年	11月13日	創立110周年記念新部室落成式挙行
平成 20 年	5月12日	国際学生科学技術博覧会（世界大会）企業・学会推薦特別賞（地学部）
平成 24 年	7月	数学オリンピックアルゼンチン大会に林興養が出場
平成 26 年	7月13日	第25回国際生物学オリンピックで那須田桂が金メダルを受賞
平成 26 年	11月24日	創立120周年記念式典挙行
平成 28 年	3月	テニスコート５面、陸上短距離用４コースの全天候対応竣工
令和 4 年	3月21日	第33回全国高等学校選抜ボート大会女子シングルスカルで高橋莉子が優勝
	8月14日	全国高等学校総合体育大会ボート競技女子シングルスカルで高橋莉子が優勝
令和 6 年	11月14日	創立130周年記念式典・特別講義挙行
令和 8 年	1月	校舎トイレの洋式化及び温水洗浄暖房便座設置完了

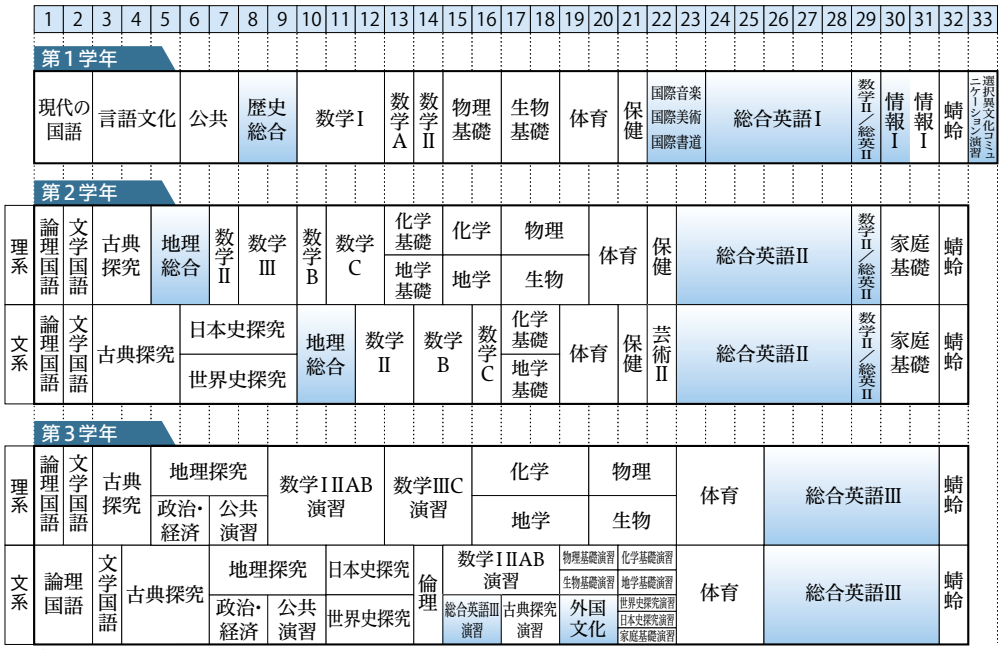
普通科

令和９年度生
授業科目（予定）



国際科

令和９年度生
授業科目（予定）



◆色つきの科目は専門科目

普通科在校生からのメッセージ



37HR
伊代田篤輝
（湖東中出身）

皆さんは浜松北高校にどのようなイメージを持っていますか？
県内でも随一の進学校で、全員が勉強への高い意識を持っている。私も入学した時はそのようなイメージを持っていました。しかし、北高での生活に慣れていくにつれ、北高といえば勉強、という単純なイメージはすぐに変わっていきました。
北高で得られるものは無数にあります。しかし、北高で三年間過ごすことで得られる一番の強みは、質の高い授業でも、勉強に集中できる環境でもありません。それは、高い志を持った信頼できる仲間です。北高には、他の高校にはない様々な価値観と感性を持った人たちが集まってきます。そのような人たちと意見をぶつけ合い、切磋琢磨することで、新たな自分を発見することができる、これが北高の最大の魅力だと私は思います。
そして、そのような仲間たちと関わり、絆を深められる場が北高には数多くあります。その一つが、北高全体が盛り上がる三大行事、学校祭・合唱大会・うんどう会です。北高の行事は、企画から運営まで全て生徒たちの手で行われます。初めての学校祭では、迫力のある展示とそれを作る先輩たちの情熱に圧倒されました。しかし、自分たちが主体となって作り上げるからこそ、困難も生まれます。思うように作業が進まず、意見が対立するなど、一人では解決できない困難も、様々な意見を持った仲間と議論を重ね、励まし合うことで乗り越えることができます。こうして、行事が成功に終わったときには言葉では言い表せない達成感を味わえます。
また、北高生は部活動にも手を抜かず、全力で取り組みます。私はバレーボール部で活動していましたが、練習が遅くまである日もあり、勉強との両立はそう簡単ではありませんでした。特に二年生になってすぐの頃は、練習でミスが続き、自分のプレーに自信が持てず、焦りから勉強に手がつかなくなることも多くありました。しかし、チームの仲間たちは毎日真剣にバレーと向き合い、部活後には全力で勉強に励んでいました。その姿に触発され、自分も頑張らなければいけない、と背中を押されました。このように、部活を通して、お互いに刺激し合い、高め合っていこうとする雰囲気が北高全体にあると私は思います。
また北高には、自主独立の精神のもと、共に支え合い、高め合うことで、より良いものを自分たちだけで創り上げていくという風潮があります。そうした他人との関わりの中で、本当の自分と向き合い、自分の新たな可能性を切り開いていくことができる。それが、浜松北高校であり、個性的な仲間たちが集まる理想的な場所なのです。
確かに、北高生である以上、日々の勉強は欠かせません。しかし、これは決して難しいことではありません。周りには、他人の選択を尊重し、最後まで応援して付き合ってくれる仲間たちがいます。意欲さえあれば、仲間たちと楽しく学ぶことが自然とできるようになるはずです。また、北高には勉強以外のことに挑戦する機会も数多くあります。そこで必要になるのは、最初の一歩を踏み出す勇気です。その勇気があれば、後は同じように物事に真剣に打ち込む仲間たちに導かれ、三年間が最高に充実したものになるでしょう。この浜松北高校で、仲間たちとともに最高に自由な高校生活を創り上げてみませんか。



22HR
山本航生
（桜が丘中出身）

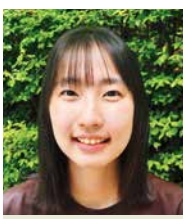
みなさんは、浜松北高と聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。やはり勉強でしょうか。実際、北高は静岡県でも指折りの進学校です。学習に適した環境も揃っています。
しかし、私がそれ以上に価値があると感じているのは、そうした勉強の合間を縫って行われる活発な行事と、このような環境での、さまざまな人との関わりです。
北高の行事は、ただ受け身で参加するだけのものではありません。一人一人が自分でできることを探し、全員で目標の達成に向かって取り組む場です。その過程で重要となってくるものが、フォロワーシップです。もちろんリーダーシップは大切です。リーダーは方向性を示し、集団をまとめてくれますが、その力が発揮されるには周囲の人々の協力が欠かせません。そのため、フォロワーは指示を待つのではなく、自ら考えて行動しリーダーをささえられる力が求められます。こうした相互関係の中で、互いの立場を思いやりながら協力する力が身につきます。
例えば文化祭では、意見が衝突することも数多くあります。それぞれがより良いものを作ろうとするからこそ、考えがぶつかるのです。その中で自分の意見をはっきり伝え、クラス全体の意見に耳を傾けながら、みんなが納得できるようにするという経験には、単なる作業にはとどまらない大きな価値があります。またうんどう会では学年の壁を越えた作業を通じて強い一体感が生まれます。これらの経験を通して得られる力は、将来社会に出て働くときにも大いに役立つことでしょう。
そして、こういった環境で出会う人との関わりはかけがえのないものとなります。北高には高い志を持ち、自らを高めるための努力を惜しまない人がたくさんいます。そういった人との出会いによって、自身も触発され、お互いに高め合うことができるのです。時には自分の足りないところに気付かされることもありますが、それも次の一歩を踏み出すための力となります。互いに刺激を与え、支え合いながら進歩する関係は、高いレベルの生徒が学年全体にいる北高でしか築けません。
かくいう私自身、北高に行くかどうかは最後まで悩んだ末に決めました。近くの通いやすく、知り合いも多い高校にした方が良いのではないかと何度も考えたものです。しかし、実際に北高に来てみれば楽しい行事が待っていますし、行事を通じて知り合いも増えていきます。ぜひ、挑戦してみることをおすすめします。
このように、浜松北高は学力を伸ばすだけでなく、人間としても成長する機会を与えてくれる場です。皆さんも北高で価値ある出会いにあふれた学校生活を送ってみませんか。



15HR
大澤百々香
（北部中出身）

みなさんはどのような高校生活を送りたいですか。最高に忙しい、けれど最高に楽しい。そんな学校生活の代名詞が浜松北高校だと感じます。
さて、一つ質問です。北高イコールどのようなイメージですか。おそらく多くの人が「北高＝勉強」と答えるでしょう。北高は勉強が大変な学校、勉強ばかりしているというイメージが強いと思いますが、この答えは少し違うと入学して感じています。 もちろん、北高は勉強に手を抜くことはありません。速い授業スピード、刺激となるテスト、そしてハイレベルな先生と仲間。とても良い環境の中で学力を伸ばすことができます。
しかし、それだけではないのです。北高には部活動・行事・環境と、まさに「高校生活」といえるような楽しいことも多いのです。部活動は中学のおよそ2、3倍の数があり、文化部・運動部ともに豊富です。がっつり部活をやりたい人から、両立を考え部活に所属したい人まで、多様な人に合った部活動があります。そして、学校祭・合唱大会・うんどう会と続く三大行事。行事にも全力になれるのが北高の魅力です。「行事は本当に楽しい」とおっしゃる先輩も多いです。特に、中学ではなかった学校祭では、入学後すぐに説明会が始まり、　塩ビパイプを使った本格的なホームルーム展の作成が楽しみです。さらに、整った環境。4万冊以上の本がある開放的な図書館や、きれいな新体育館。教室はほぼ毎日掃除され、とてもきれいです。
なんといっても、個性的な仲間と「自主独立・自律」という校風の中で生活できることは、自分を高めてくれると感じます。色々な人がいて、その違いを認め合える仲間が北高には多いです。そして、自由でルールが少ない中で、何をすればいいのか、自分で考えて行動することを学ぶことができます。
私は「北高=充実」が正解だと感じます。勉強も含め、充実した高校生活を送ることができる環境が北高にはあります。最高に忙しいけれど最高に楽しい学校生活がみなさんを待っています。

国際科在校生からのメッセージ



39HR
桂花穏
（北部中出身）

英語が好き、世界を知りたい。そんな思いを持つ皆さんに、私が国際科で過ごした最高の3年間をお伝えします。
まず紹介したいのは、10～20人で行われる少人数授業の魅力です。授業中の発言がしやすく、先生も私たちのペースに合わせて授業を進めてくださるので、内容も理解しやすいです。私は中学まで数学に苦手意識がありましたが、少人数授業のおかげで、今では大好きな教科になりました。
また、1年次の海外研修は国際科ならではの最大の醍醐味です。ホームステイでの文化交流はもちろん、現地の高校で実際に授業に参加したことで、慣れない専門用語に苦戦しながらも楽しく充実した日々を過ごすことができました。夜、わからなかった単語を調べてみると、実は日本で既に習ったことのある内容だと気づき、言語が違うだけでこんなにも認識のしやすさに差が出るんだと、驚いたことを覚えています。それは日本の学校で学んできた、コミュニケーションのための英語とは異なるジャンルで、英語の新しい側面を知ることのできる、面白い発見に満ちた体験でした。北高国際科の海外研修に行ったらきっと、今しか味わえない貴重な経験ができるはずです。
さらに、国際科には学年を超えた結びつきがあり、先生方とも距離が近く、進路や学校生活について気軽に相談できる温かい雰囲気があります。多様なバックグラウンドをもつ仲間も多く、お互いの違いを当たり前のように受け入れる文化があるため、日本にいながらも日々多様な価値観に触れ、自然と広い視野を養うことができます。
また、3年間クラス替えがないことも大きな魅力です。お互いを認め合い、どんな意見にも耳を傾けてくれる仲間がいるからこそ、自分の想いも遠慮なく口にすることができます。私は、この多様性と柔軟性を併せ持ったクラスが大好きです。文理混合のため、違う道を目指す仲間との会話はいつも刺激的で、授業が別々になってもクラスの絆が変わることはありません。朝の教室は、いつも笑い声でいっぱいです。
きっと、北高国際科で素敵な出会いが待っています。みなさんもぜひ、国際科へ！

国際科の教育の特色

1.各学年で専門科目を学び、広い視野を身につけ、自国及び国際理解を深めます。
2.語学教育とグループ活動を通じ、豊かなコミュニケーション能力を身につけます。
3.授業や行事の様々な場面で、メディアリテラシーを磨き、国際的な舞台で発信する力を養います。
4.専門科目を中心に、小集団授業を実施し、個々の生徒に応じた指導を行います。
5.普通科と共通の学校行事に加え、下に紹介するような独自の行事があります。

■国際科の3年間



イングリッシュデイ

2年生の校外学修の体験発表を聞き事前学習を開始します。また、「英語の日」として英語運用能力向上の基礎固めをします。



▲校外学修(ニュージーランドプログラム)

進路実現

3年

文系、理系を問わず、国公立・私立大学のすべての学部への進学に対応した授業編成

1年

国内プログラム

オールイングリッシュでのアクティビティと異文化理解のための研修。
1年次の夏休み3日間実施します。



▲校外学修(国内プログラム)

オクトーバープロジェクト

校外学修の経験を活かした実践的な活動を行う。小学校での英語授業、国際協力機構(JICA)訪問、留学生との交流、伝統文化の体験などの4日間の研修。



▲オクトーバープロジェクト

校外学修

英語によるコミュニケーションの実践と異文化体験をします。

1.プログラムの内容(例)

ニュージーランドプログラム
(1) 現地高校の授業に参加
現地の高校生とともに授業を受け、学校行事に参加。
(2) ホームステイ
1家庭に本校生徒2人のホームステイ。週末もホストファミリーと共に過ごし、現地の生活を体験。

2.経　　費
約60万円

3.実施時期
1年次の2月下旬から3月中旬の約2週間

イングリッシュデイ

学校生活や校外学修を英語によるプレゼンテーションの形で発表。

2年



▲イングリッシュデイ



▲オクトーバープロジェクト

卒業生からのメッセージ



神戸大学[国際人間科学部]進学

宇治琴乃 [城山中出身]

振り返ってみると、私は浜松北高の国際科で3年間を過ごせて本当に良かったと感じています。国際科の最大の魅力は、日本にいながらにして英語を使うチャンスが圧倒的に多いことです。3週間の海外研修や、海外から来た人と深く交流する国内プログラムなど、実戦的に英語を使う機会が多数用意されています。この環境の中で、単なる語学力以上に、人生の視野が大きく広がるのを実感しました。また、3年間同じクラスで過ごすという環境も、私を人間的に大きく成長させてくれました。長い時間を共にし、相手と深く関わる中で、一生の友人と出会えたのはもちろん、深く関わるからこその意見の食い違いをどう解決し、どう折り合いをつけていくかを模索した経験は、自分を支える大きな糧となりました。

北高といえば、大規模な行事も魅力の一つです。行事に全力で取り組む国際科の仲間と共に、学祭のクラス展示に向けて必死にダンボールに色を塗ったり、うんどう会のために夏休みに毎日登校して衣装案を練ったり、凸の制作に参加したりと、連日作業に通い詰め、行事に全力を注いだ日々はかけがえのない思い出です。北高の行事は積極的になればなるほど楽しくなります。是非北高に入学し、全力で行事に参加して、北高を味わい尽くしてほしいと思います。

学習面においても、周囲の志望が高いため、自分自身の意識も自然と引き上げられる最高の環境があります。さらに国際科には、海外の大学をはじめ、既存の型にはまらない多様な進路を選ぶ仲間も多く、彼らに刺激を受けたことで自分の人生に対する視野が大きく広がりました。

浜松北高国際科は、自分を磨き、世界を知り、最高の仲間に出会える場所です。ここで過ごす3年間は、あなたを大きく成長させてくれます。皆さんも、この特別な環境で自分だけの可能性を広げてみませんか。

令和8年3月卒業生の進路状況（普通科・国際科）

卒業後の進路

R8. 4. 1現在

卒業生徒数	進学者						専修学校	留学	その他	進学準備
	四年制大学			短期大学						
	国立	公立	私立	国立	公立	私立				
358	148	22	77	0	0	0	1	0	0	110

大学合格者数 （ ）内は新卒の内数

国立大学				公立大学				私立大学					
北海道	8	(7)		京都	23	(11)		青山学院	18	(8)		藤田医科	7 (5)
東北	12	(10)		大阪	16	(15)		学習院	4	(2)		南山	18 (14)
筑波	7	(5)		神戸	10	(3)		北里	7	(2)		名城	25 (12)
千葉	13	(10)		広島	4	(2)		慶應義塾	25	(11)		同志社	93 (47)
東京	9	(6)		九州	5	(1)		駒澤	5	(3)		立命館	141 (58)
東京外国語	5	(3)		その他	37	(18)		国際基督教	1	(1)		関西	47 (25)
東京学芸	1	(1)		計	237	(155)		芝浦工業	5	(3)		関西学院	48 (31)
東京科学	4	(0)		静岡県立	2	(2)		上智	16	(12)		その他	276 (136)
一橋	2	(1)		名古屋市立	14	(9)		中央	45	(28)		計	1,054 (549)
横浜国立	12	(10)		京都府立	2	(1)		津田塾	4	(4)			
金沢	3	(1)		大阪公立	14	(7)		東京理科	81	(36)			
静岡	20	(17)		その他	17	(11)		法政	40	(20)		4年制大学合格者総数	1,340 (734)
浜松医科	18	(16)		計	49	(30)		明治	68	(40)			
名古屋	27	(18)						立教	33	(21)			
名古屋工業	1	(0)		国公立医学科	35	(24)		早稲田	47	(30)			

※海外大学合格者数は1名

国際科過去5か年の主な大学現役合格者数 （ ）内は令和8年3月卒業生の内数

国立大学			公立大学			私立大学			海外の大学	
東北	1	(1)	三重	1		愛知県立	1	(1)	明治	13 (4)
茨城	1		京都	1		名古屋市立	4		明治学院	8
筑波	1	(1)	大阪	5		神戸市外語	3		立教	14 (4)
東京	2		神戸	2	(1)	兵庫県立	1		早稲田	17 (5)
東京外国語	4	(1)	奈良女子	1		青山学院	13	(1)	南山	38 (4)
東京学芸	2	(1)	広島	2		慶應義塾	11	(1)	同志社	5
横浜国立	1	(1)	徳島	2		上智	10	(5)	立命館	27 (1)
上越教育	1		長崎	1		中央	6		関西	7 (6)
静岡	5		国際教養	1		津田塾	14	(3)	関西学院	24 (12)
浜松医科	4		東京都立	1		東京理科	2		トロント大学	1
愛知教育	1		静岡県立	2		東京女子	3		マギル大学	1
名古屋	3		静岡文化芸術	1		法政	13	(2)	アーカンソー州立大学	1



名古屋大学［医学部医学科］進学

横田紗和 ［静岡大学教育学部附属浜松中出身］

かけがえのない北高での生活を終え、私が皆さんに伝えたいのは、「日々の地道な努力」と「新しいことへの挑戦」を両立することの大切さです。北高は本当に恵まれた環境です。目標に向かって直向きに努力する仲間と共に、大学受験のための授業だけでなく、その教科への好奇心を掻き立てるような授業も受けることができます。だからこそ、行事を含めこの場所で努力を続け、できることを精一杯やり切ることは、人としての成長においても進路決定においても非常に重要であり、それだけでもとても充実した高校生活になると思います。しかし、この恵まれた環境で学べるからこそ、自ら外の世界に飛び込むことができ、またそうすべきだとも思います。私は高校2年生の時、名大MIRAI GSCという高校生向けの研究プログラムに参加したり、英語ディベート部の活動に全力で取り組んだり、科学の甲子園に参加したりと、日々の勉強に加え、多くのことに自ら挑戦しました。ただ、勉強と挑戦を両立することは簡単ではなく、一人の力では決して成し得ません。この時、私を支えてくれたのは「北高」でした。名大MIRAI GSCには多くの北高OBの方が関わっていたため、学校の話題から話が広がっていったり、アドバイスをいただいたりと、北高が繋いでくれる方々に本当に救われました。また、学校に戻れば当たり前のように毎日努力する仲間がいて、悩んでいる時には相談に乗ってくださる先生方がいらっしゃったことが、この両立を続ける原動力となっていました。私は、北高に支えられたこれらの挑戦のおかげで、同じ道を志す仲間や、自分が目標とする将来像など貴重な財産を得ることができ、心の底から充実していたと思える高校生活を送ることができました。皆さんが目指している北高には、「北高生だから」挑戦できることや、開けていく世界が必ずあります。皆さんも失敗に臆することなく、北高生として外の世界に飛び出し、これ以上ない三年間を過ごしてみませんか。



東京大学［文科三類］進学

澤木友和 ［浜名中出身］

入学時の心づもりを思い返しながら高校3年間を回顧してみると、全く当初の心づもりとは異なった3年間であったものだと沁々と感じます。新聞部入部までは想定通りでしたがそこの部長になった上、部活仲間に触発されて所属した行事の運営委員会の仕事にのめり込み、結果として先輩・後輩含め幅広く交友関係を持つに至ったことは想定外で、しかも何事にも代え難い経験でした。何が言いたいかというと、皆さん方にとって北高での3年間は良い意味で想定を超える期間になるだろうということです。

その理由として挙げられるのは、北高は様々な選択肢で溢れているから、ということです。北高三大行事と称されている学校祭・合唱大会・うんどう会（敢えて平仮名になっています。その理由は入学後ご自身でお確かめあれ）、模擬裁判選手権等の課外活動、多岐にわたる部活動などでの個性を存分に活かせるであろう機会が皆さんを待っています。入学したら、まず、興味のあるところから少しでも参加してみてはいかがでしょうか。思いがけない機会に恵まれるかもしれません。もちろん、かなりの量の課題が課せられ勉学をいい加減にできないのは事実ですが、北高で3年間勉強した成果は、幅広い進路の選択肢という形で現れます。こちらも是非喰らいついてほしいと思います。

また、3年間を過ごす仲間から刺激をたくさん受けることも北高の強みでしょう。何よりも自分の視野が広がりますし、高い目標を目指して頑張る仲間の姿を見て、自分も励まされることは少なくありません。一緒に頑張る仲間に追いつけ、追い越せの心意気で切磋琢磨し成長していくことも北高での醍醐味かもしれません。また先生方はそのような私たちのことを専門的知識を活用されながら支援してくださいます。

今、皆さんは北高を目指して日々努力していることと思います。合格した暁にはきっと想像以上の楽しい北高生活が待っていることでしょう。それを期待しながら更に自分を高めていってほしいと思います。

部活動

普通科・国際科共通

運動部

剣道	バスケットボール(男・女)
陸上競技	卓球
洋弓	テニス(男・女)
バレーボール(男・女)	山岳
水泳	漕艇
硬式野球	空手
サッカー	

文化部

英語ディベート	芸術
新聞	・写真班
音楽鑑賞	・美術班
吹奏楽	・書道班
合唱	自然科学
軽音楽	・物理・化学班
演劇	・生物・地学班
茶華道	・数学班
百人一首	囲碁・将棋
放送	・囲碁班
	・将棋班

※蜻蛉クラブ
















北高の四季

◆行事予定は途中で変更になることもあります。

4 April

入学式

入試を乗り越え、
喜びの門をくぐる



5 May

遠足・X-LHR

新クラスの融和をはかる

学校祭

並外れた企画力と団結力が作り出す展示物は圧巻



6 June

合唱大会

レベルの高い合唱の競演その歌声は観衆を幸福に包み込む



7 July

特別講義

各界で一流の講師を招く北高ならではの行事





8 August

9 September

運動会

3年生を中心に、ショータイムとデコレーションでアピール





10 October

11 November

修学旅行(普通科)

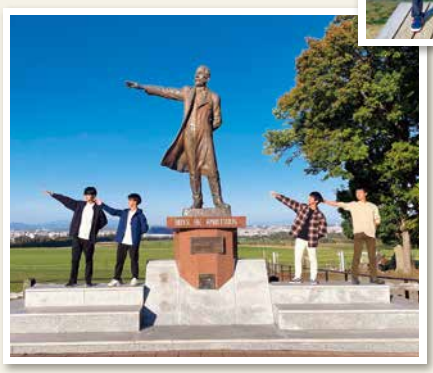
目的地の調査を通して各地の歴史や文化に触れる



沖縄コース



関西コース



北海道コース

12 December

長距離走大会

小笠山運動公園内を走り
エコパスタジアムでゴールする





1 January

2 February

3 March

校外学修(国際科)

国内及びニュージーランドにて
約一ヶ月間、現地の文化を学び、
語学を磨く

卒業式



静岡県立浜松北高等学校

〒432-8013 浜松市中央区広沢１丁目30-1
TEL.(053)454−5548　FAX.(053)456−3316
[email] hamamatsukita-h@edu.pref.shizuoka.jp
https://www.edu.pref.shizuoka.jp/hamamatsukita-h1/

■ JR浜松駅から約2.7㎞

○自転車で約15分
○バスで約15分
　バスターミナル（1・15・16番）
　より乗車、『浜松北高』下車。

